

広島県感染症発生動向月報

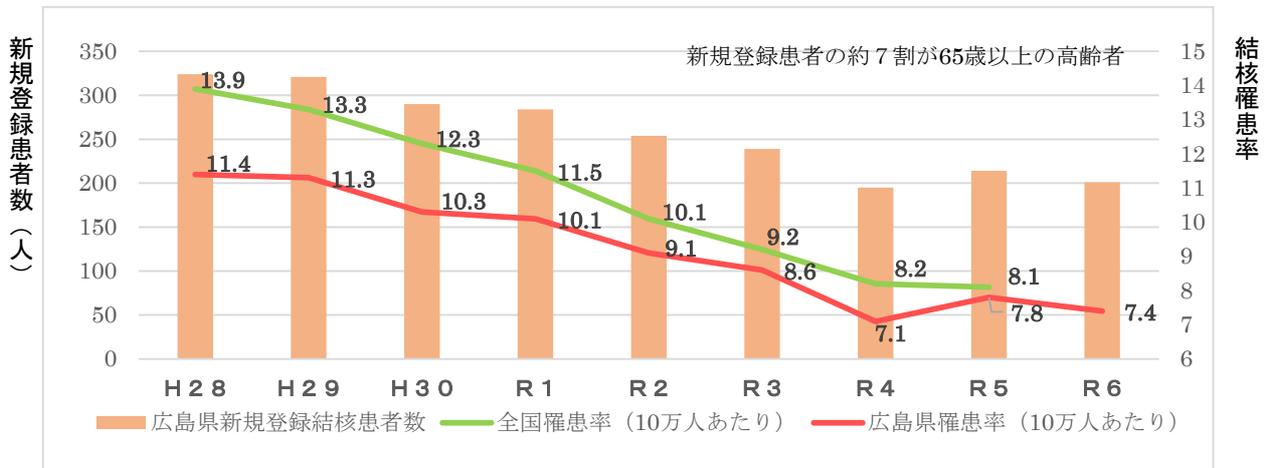
[広島県感染症予防研究調査会]
 (令和7年8月解析分)

1 今月のトピックス

■ 9月24日～30日は結核・呼吸器感染症予防週間です。
 年1回は胸部エックス線検査を受けましょう。

- 厚生労働省は、毎年9月24日から9月30日までを結核・呼吸器感染症予防週間と定め、結核に関する正しい知識の普及啓発を図ることとしています。
 また、公益財団法人結核予防会は、毎年8月1日から12月31日に複十字シール運動を実施し結核予防の普及啓発とその実現に向けて募金活動を行っています。
- 結核は、昔の病気ではなく、今でも全国で年間1万人もの新しい患者が発生し、約1,600人が命を落としている重大な感染症です。
- 医療や生活水準の向上により、結核の新規登録者は減少傾向にありますが、結核を知ることが予防への第一歩です。早期発見・早期治療は本人の重症化を防ぐためだけでなく、大切な家族や職場などへの感染の拡大を防ぐためにも重要です。
 これを機会に、年1回は胸部エックス線検査を受けましょう。

■ 広島県の結核患者発生状況



■ 感染拡大を防ぐために

胸部エックス線検査を受けましょう！

・学校や職場で健診を受ける機会のない高齢者も、市町の住民健診等で、年1回は胸部エックス線検査を受けましょう。

健康的な生活を心がけましょう！

・バランスのとれた食事・適度な運動・十分な睡眠・禁煙・ストレスをためないなど、免疫力を高めましょう。

1歳までに予防接種 (BCG) を受けましょう！

・BCGは結核を予防するワクチンです。ワクチンを接種して、未然に防ぎましょう。

治療は、結核の薬をきちんと飲みましょう！

・薬は決められた期間、しっかり飲みましょう。中断してはいけません。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和7年7月分(令和7年7月7日～令和7年8月3日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	急性呼吸器感染症(ARI) ※2	16,718	43.99	-	→	11	突発性発しん	56	0.24	0.32	→
2	インフルエンザ ※3	33	0.09	0.22	↓	12	ヘルパンギーナ	423	1.82	1.14	↑
3	新型コロナウイルス感染症(covid-19) ※1	928	2.44	-	↑	13	流行性耳下腺炎	8	0.03	0.05	↓
4	RSウイルス感染症	53	0.23	1.99	↗	14	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	
5	咽頭結膜熱	96	0.41	0.38	↘	15	流行性角結膜炎	50	0.66	0.35	↘
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	468	2.02	1.05	↘	16	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	感染性胃腸炎	1,119	4.82	3.51	↘	17	無菌性髄膜炎	7	0.09	0.02	
8	水痘	33	0.14	0.07	→	18	マイコプラズマ肺炎	80	1.00	0.17	↗
9	手足口病	132	0.57	4.43	↗	19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	
10	伝染性紅斑	473	2.04	0.01	→	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.01	0.00	

※1 R5年第19週(5/8～)から五類に変更。※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和7年7月分(7月1日～7月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
21	性器クラミジア感染症	54	2.45	3.28	↗	25	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	76	3.80	3.26	→
22	性器ヘルペスウイルス感染症	13	0.59	0.78	↘	26	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0.00	0.12	
23	尖圭コンジローマ	19	0.86	0.70	↗	27	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.05	0.02	
24	淋菌感染症	28	1.27	1.17	↑	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患	新型コロナウイルス感染症(covid-19)	0.83	→	2.44
	ヘルパンギーナ	0.59	→	1.82
	淋菌感染症	0.64	→	1.27
○急減疾患	インフルエンザ	0.31	→	0.09
	流行性耳下腺炎	0.09	→	0.03

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象20疾患、月報対象7疾患)について、県内156の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1、2、3	1～13	14、15	21～24	16～20、25～27	
定点数	37	58	19	22	20	156

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	29	結核(29)[西部保健所(2)、西部東保健所(2)、東部保健所(4)、北部保健所(1)、広島市保健所(12)、呉市保健所(2)、福山市保健所(6)]
三類	19	腸管出血性大腸菌感染症(19)[西部保健所(1)、東部保健所(5)、北部保健所(1)、広島市保健所(6)、福山市保健所(6)]
四類	11	レジオネラ症(4)[広島市保健所(4)] 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)(4)[東部保健所(1)、北部保健所(1)、広島市保健所(1)、福山市保健所(1)] 日本紅斑熱(3)[東部保健所(1)、広島市保健所(1)、福山市保健所(1)]
五類	691	ウイルス性肝炎(1)[広島市保健所(1)] クロイツフェルト・ヤコブ病(1)[福山市保健所(1)] 急性弛緩性麻痺(1)[北部保健所(1)] 急性脳炎(3)[広島市保健所(1)、呉市保健所(2)] 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)[西部保健所(1)] 侵襲性肺炎球菌感染症(4)[広島市保健所(2)、福山市保健所(2)] 水痘(入院例)(1)[広島市保健所(1)] 梅毒(23)[西部保健所(1)、西部東保健所(3)、東部保健所(1)、北部保健所(1)、広島市保健所(11)、呉市保健所(1)、福山市保健所(5)] 百日咳(654)[西部保健所(100)、西部東保健所(163)、東部保健所(70)、北部保健所(8)、広島市保健所(214)、呉市保健所(36)、福山市保健所(63)] 麻しん(2)[広島市保健所(2)]